

クラッシュとエラーの監視について投げかけるべき質問トップ5

継続的な配信が主流となり、開発期間の短縮が進む現在、ソフトウェアバグは開発サイクルのすべての段階で避けたいものになっています。

問題

出典：Cambridge University, Information Technology Intelligence Consulting

 (dev) 開発者は

50%

の時間をデバッグに費やしている

 停止のコストは

30 万ドル

(1 時間あたり)

1

開発の初期段階にエラー監視を導入することで、製品の成長軌道はどのように改善されますか？

開発と早いリリース段階のエラー監視によって 3 つの利点がもたらされます：



新機能の作成や製品の改善により多くの時間をかけられる



運用環境にリリースされるバグが減少する



開発サイクルを加速する

2

ゲームの品質を高めることは、会社の収益にどのような影響をもたらしますか？

カスタマーリテンションが鍵

顧客満足度が顧客ロイヤルティレベルの違いに与える影響は

37%

にものぼります。

出典：Harvard Business School

既存の顧客を維持する方が新規顧客を獲得するよりもコストが

6 倍

安いためリテンションは大きな収益源になります。

ユーザー体験の向上

監視によって、製品とエンジニアリングのマネージャーは問題がいつ発生したかを特定したうえで、問題を整理し、優先度を付けることによって、MTTD を把握できます。

問題の詳細な分析と自動化された同僚との協力を通して MTTR を改善できます。

ダウンタイムを減らす

エラー監視はダウンタイム削減に不可欠なツールです。バグとエラーをさかのぼることで、チームはクラッシュ、停止、SLA 未達成が発生する前に問題を解決できます。

3

エラー監視における ROI を改善するには、どの KPI を追跡すべきですか？

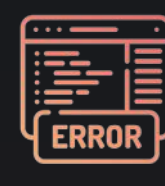
ROI を最大化するために役立つ KPI



エラー総数



エラーの影響を受けるユーザーの数



新しいソフトウェアリリース後に発生するようになったエラー



アプリケーションモジュールあたりのエラー



アプリケーション使用開始 5 分以内に発生するエラー

4

特定の問題の影響を受けるのはどのような顧客ですか？ それはビジネスの目標にどのような影響をもたらしますか？

Bain and Company の調査によると、**5% の顧客を維持することで利益は 95% 近く上昇します。**

大きな問題と小さな問題

特定のバグの影響を受けるユーザーの数を把握することは重要です。そうすると、どのバグを優先するかについて、よりの確に判断できるようになります。

内部の問題とユーザーの問題

エラー監視によって、どのような場合がユーザーの問題であり、内部の問題ではないかを理解できます。

離脱はコストがかかる

監視によって、どのタイプの顧客に問題が発生しているかについて洞察を得ることができます。

5

クラッシュとエラーの監視ソリューションは、どのタイミングで導入するべきですか？

エラー監視システムによってソフトウェアのバグの正確な履歴レコードが提供され、チームはエラーの根本原因を突き止めることができます。

エラー監視は成熟した製品にも不可欠です。新機能や拡張機能を追加すると、いったん安定バージョンになった製品に新たなバグが発生することは避けられません。

監視ソリューションを購入する主な利点は、コスト効率と実装の容易さであり、チームは監視システムではなく製品の開発に集中できます。

Backtrace は、エンジニアとマネージャーの両方にとって使いやすいように設計されています。